

明るく・元気で・生きがいもてる・いいまち『大府』をつくる

のぎた たかはる
野北 孝治 たより

2023年1月吉日
大府豊幸会
【事務局】
刈谷市宝町8-1
Tel 0566-24-5848



大府市議会議員
野北 孝治
54才 現職1期

令和五年 新春

みなさん、こんにちは。大府市議会議員の野北孝治です。
新しい年を迎え、今年も心新たに議員活動に取り組んでまいります。
昨年12月18日「大府豊幸会総会」が開催され、私、野北孝治を次期
大府市議会選挙（4月23日投票）の支援候補者として決定していただきました。
また、12月議会の一般質問に立ちましたので、その内容と議案の一部を
報告させていただきます。

大府豊幸会総会 次期大府市市議会議員選挙（4月） 『野北 孝治』の支援決定！

プロフィール



【生年月日】 1968年4月24日（54歳）
【主な経歴】 1987年3月 福岡県立八幡工業高校 卒業
1987年4月 (株)豊田自動織機 入社
2008年9月 豊田自動織労働組合 非専従執行委員（4年）
2012年9月 豊田自動織労働組合 専従執行委員（2年）
2014年9月 (株)豊田自動織機 生技・生産本部 生産管理部
2018年10月～ 豊田自動織労働組合 専門員
【政治歴】 2019年4月 大府市議会議員 初当選
現職1期目
【私の信条】 『現地現物・終わりなき改善』

豊田自動織機労働組合 擁立決定
全トヨタ労働組合連合会 推薦決定

豊幸会総会 来賓の方々



大府市議会議員
大西様
（今期で勇退）



大府市長
岡村様



豊田自動織機代表
常務役員
安井様



支援企業代表
名張製作所
中村様



労働組合代表
執行委員長
丸山様



参議院議員
愛知選挙区
伊藤様

みなさまからの温かいご支援を今後もよろしくお願いいたします！

令和4年12月議会（トピックス）

【会期】11月30日（水）～12月16日（金）

【主な内容】

(1) 職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

地方公務員の定年引上げが可決されました。

2年ごとに1歳繰り上げられ、令和14年に65歳まで引き上げられます。

（再雇用制度あり）

60歳以降の給与は、60歳以前の7割程度。

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
S38 生まれ	60歳	61歳 退職	62歳	63歳	64歳	65歳				
S39 生まれ		60歳	61歳	62歳 退職	63歳	64歳	65歳			
S40 生まれ			60歳	61歳	62歳	63歳 退職	64歳	65歳		
S41 生まれ				60歳	61歳	62歳	63歳	64歳 退職	65歳	
S42 生まれ					60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳 退職
定年	61歳		62歳		63歳		64歳		65歳	

(2) 補正予算について

- ① マイナンバーカードを利用して、多機能端末機（コンビニのコピー機）による交付手数料を安くします。

【対象】住民票の写し
印鑑登録証明書

【金額】300円 ⇒ 200円

【期間】令和5年3月1日～令和8年3月31日



- ② 令和5年1月～3月までの3ヶ月間、ふれあいバスの **運賃無料キャンペーン** を実施します。

市民生活に重くのしかかっている物価高騰への対策の一つであるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う利用減少から完全に回復できていない、**ふれあいバスの利用促進を目的として実施**します。



- ③ 経済的支援として、こども未来応援金を交付決定しました。（妊娠～出産以降も含め、伴走型支援）

妊娠が判明した時点で、お祝い金として5万円を支給。出産後にお祝い金として5万円支給。

また、妊娠以降の相談役として、職員を増員して対応。（妊娠、出産に対する相談窓口の強化をします）

【事業開始】令和5年1月1日～

※令和4年7月以降に妊娠届出した方にも遡及して、5万円が支給する



12月議会 一般質問内容（抜粋）

ゼロカーボンシティの達成に向けて

1. 大府市の目指すカーボンニュートラルの姿について

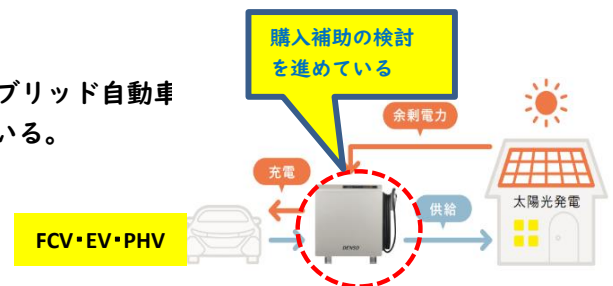
(1) Q：ごみの減量をどのように進めていく考えか

A:リデュース、リユース、リサイクルのに、リフューズを加えた4R（フォーアール）を推進することでごみの減量を進めている。来年4月からは、リサイクルの新たな取組の強化として、プラスチック製容器包装と製品プラスチックをまとめて回収する「プラスチック資源の一括回収」を開始し、資源化促進によるごみの減量を進めていく。

2. 次世代自動車の普及について

(2) Q：家庭用充電設備設置補助を考えているか

A:【市長回答】本年度から、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車を対象とした購入費の補助を開始している。今後も更に普及が進むよう、電気自動車などの充電設備の補助制度の創設を検討している。



(2) Q：ふれあいバスを次世代バスに変更することを考えているか

A:利便性向上の観点において、買い物や通院の支援を目的とする、ふれあいバス中央コースの車両1台の増車を含む路線改正について、来年10月の実施に向けて準備を進めている。増車する車両には、次世代バスである電気自動車、いわゆるEVバスを導入する予定である。

今後も住みやすい・いいまち『おおぶ』の実現に向け、市民の目線で現地現物を大切にして活動してまいりますので引き続き、ご支援・ご協力をお願いします。

野北 孝治 相談室(大府工場内)
(直通) 0562-48-9570
(メール) nogita@tiwu.or.jp